

学校
教育
目標

明るく
素直に
礼儀正しく



海老名市立杉本小学校



学 校 便 り

令和8年5月20日
校長 奥泉 憲

5年野外 教育活動①

5年生の合言葉「よ〜い、アクション!」とともに始まった2日間の野外教育活動。天候にも恵まれ、まぶしい太陽と爽やかな風が子どもたちを迎えてくれました。1日目の「寒沢の源流を訪ねよう」では、緑豊かな山道を進みながら、富士山から湧き出る清らかな水に触れたり、実際に飲んだりして、自然の豊かさを体感しました。その後の「クイズウォークラリー」では、富士山にまつわるクイズに挑戦しながら東山荘周辺を散策しました。夜のキャンドルファイヤーでは、あの伝説の火の神様が登場し、幻想的な雰囲気の中で各クラスが考えたレクリエーションを楽しみ、大いに盛り上がりました。2日目の「ふじさんぽ」では、約4キロメートルの山道を歩きました。野鳥のさえずりに耳を傾けたり、大木や苔に触れたり、冷え固まった溶岩の上を滑り降りたりしながら、子どもたちは自然と一体となって活動を楽しんでいました。



5年担任 田村 哲也

2日間の活動を通して、子どもたちは豊かな自然を味わうとともに、自分の役割に責任をもって取り組む姿や、友達と協力しながら行動する姿をたくさん見せてくれました。この貴重な経験を、これからの学校生活にも生かして行ってほしいと思います。

5年野外 教育活動②

5月15日、16日に5年生の野外教育活動の引率で「YMCA 東山荘」に行ってきました。出発式では、「この2日間のために、東山荘スタッフの他にもたくさんの人が皆さんを受け入れるために準備をしてくれています。感謝の気持ちを忘れないでね。」と子どもたちに伝えました。2日間とも最高の天候で、計画されたプログラムも全て予定通りに実施することができました。

退村式の後、東山荘のアクティビティ担当スタッフの方がわざわざ私に声をかけてくれました。「杉本小の5年生たち、こちらの話をしっかりと聞いて、楽しそうに活動してくれました。私たちもうれしかったです。」食事担当のスタッフの方からは、食事終了後に礼儀正しく「ごちそう様でした。」と、たくさんの子たちが声をかけてくれたことを聞かせてもらいました。

5年生の子どもたちからも今回の野外教育活動がとても楽しかったという感想をたくさん聞きます。東山荘の担当者の方からの話をしっかりと聞き、スタッフの方々への感謝の気持ちを忘れずに学年みんなで協力して活動することを心がけたからこそ、素敵な2日間を過ごすことができたのだと思います。大切なことは、「楽しませてもらった2日間ではなく」「自分たち自身の方で、楽しい2日間を作り上げた」ということです。この2日間の貴重な体験を忘れずに本校の高学年としてたくましく成長していくてくれること期待しています。



学校に到着すると、すぎの子級の子どもたちから素敵なメッセージが届いていました。

学校長 奥泉 憲